

2020年10月21日

京成電鉄株式会社

**千葉県の子どもたちの学習支援のために  
鉄道会社初開催  
さわやかちば県民プラザ主催「ちば子ども大学」で  
講座「鉄道の担う役割と裏側」を開講しました  
実施日：2020年10月17日(土)**

京成電鉄(本社：千葉縣市川市、社長：小林 敏也)では、千葉県内の小学生を対象に、講座「鉄道の担う役割と裏側」を京成電鉄 宗吾車両基地にて開講しました。

当講座は、さわやかちば県民プラザ(千葉県柏市)が主催する「ちば子ども大学【参考】」の協力機関として実施したもので、生活にかかわりの深い鉄道の役割や、その運行のために必要な仕事について、講義や見学を通じて学べる講座としました。

当日は、千葉県内の小学5年生・6年生の児童10名とその保護者が参加され、スカイライナー(AE形)の車内で、鉄道の歴史や役割、運行に携わる職員の業務について学んでいただき、講義終了後、スカイライナーに乗車したまま、車両の洗浄を行う「洗車機」を通過する体験をしていただきました。その後、車両基地内の見学に移り、車両整備業務について、台車や車輪などの実物を目の前にしながら説明を聞いていただきました。洗車機の迫力に驚かれたり、間近で見る車両に興奮されたりする様子が見られました。

京成電鉄では、今後も学習活動への支援等を通じ、地域社会へ貢献してまいります。

当件の詳細は、次項の通りです。



洗車機通過体験の様子



車両基地見学の様子

## 講座「鉄道の担う役割と裏側」について

1. 名 称 「鉄道の担う役割と裏側」  
※「ちば子ども大学」の協力機関として実施
2. 主 催 さわやかちば県民プラザ
3. 協 力 京成電鉄株式会社
4. 趣 旨 京成電鉄では、2019年度よりスタートした中期経営計画「E4プラン」の基本戦略の1つとして「地域との共生による京成グループのプレゼンス強化」を掲げており、沿線自治体等と連携し、沿線地域の持続的発展に資する、様々な地域貢献活動を行っています。  
その一環として、当社の事業エリアである千葉県内の子どもたちを対象に鉄道に関する「学び」を提供しました。なお、「ちば子ども大学」の協力機関として鉄道会社が講座を開講するのは今回が初となります。
5. 実施日時 2020年10月17日(土) 13時00分～15時30分
6. 場 所 京成電鉄 宗吾車両基地
7. 参加者 千葉県内の小学5年生・6年生の児童とその保護者 10組20名
8. 参加費 無料
9. 内 容 (1)スカイライナー(AE形)車内での鉄道の業務や成り立ちに関する講義  
(2)スカイライナーに乗車しての洗車機通過体験  
(3)運転台での撮影体験  
(4)京成電鉄 宗吾車両基地内の見学  
(5)車両基地内の保存車両との撮影体験
10. 新型コロナ  
ウイルス対策 (1)手すり等手を触れる箇所を中心に開始前に消毒の実施  
(2)開始前の検温を実施  
(3)開始前の手指の消毒の実施  
(4)車両内の定員を半減し、参加者同士の距離を確保  
(5)スタッフ、参加者共にマスクの着用  
(6)AE形車内の換気機能を使用

以 上

【参考】「ちば子ども大学」について

さわやかちば県民プラザが主催し、大学・研究所・企業・関係機関等を協力機関として、その道のプロフェッショナルから現場の空気感の中で学べる講座です。

千葉県内の小中学生を対象に、「体験をとおして新たな価値を学ぶ」「世の中のふしぎについて学ぶ」「ふるさと千葉県について学ぶ」の3つのコンセプトに沿った講座を設定し、それぞれ専門家を講師とした講義やワークショップを行います。

開催講座等詳細は、さわやかちば県民プラザのホームページをご確認ください。

URL：<https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/kodomodaigaku/>